〈協賛社あいさつ〉

境」と「CS品質」、 よる取り組みとして

「人材」

います

環

せることを最大テー

の三つの"際だち"と、

 \exists

企業は事業や製品、

「リスク

ビスを通じて社会貢献する

団連自然保護協議会がワーの支援を頂きました。最近

>援を頂きました。最近は経湿地シンポジウムでは銀行

動は環境、

。企業の社会貢献は金銭面環境、自然保護活動が中心環境、自然保護活動が中心

にはある自動車会社から広報車環境教育、普及啓発です。過去

で、学校でのプロジェクトに、学機関に協力を求めています。 や機関に協力を求めています。 でも は学びが完結せず、様々な施設 が

教育を進めています。

イナー、シンポジウムなどを開き 六年間に国内外で約百回のセミー 小年間に国内外で約百回のセミー

の協力を仰ぐ必要があるため最 教育を進めています。学校単位

校とつながりができて

ました。

ただ、

校長

ありませり

したが、企業としての参加

は

ブックを社員の皆様が読んで理ショップや、ラムサールハンドありません。企業内でのワーク

ショップや、ラムサ

考え方に大きく左右

される点もあり

解して頂ければと思います。

CSRの後退は?

織)です。活動の主軸は交流や的に活動するNGO(非政府組

とのパートを心掛け、

トナーシップづくりで、地域コミュニティー

環境、

福祉などを課題解決的に

ル条約に登録した湿地のそばに

ある学校の子供たちと湿地環境

る日本やアジアの湿地保全を目ール条約(国際湿地条約)によ

ムワー

・一クを生かした活動づくり

習の時間」では教科をまたがる問題もあります。「総合的な学

ども

中 村

四年ぐらい前から「子

・ 啓発のツール、教材のほか、実践 - 継続的な活動資金の提供や普及 - 中村 企業のCSR活動では

担う人材の育成にかか

わってい

戦後、

ちに見せていただき、

がその課題解決に道を開くと考

学校と社会が結びつくこと

中 村

ルセンターは

業文化はチ

-クを重視し 弊社の企 現在、

機応変に対応できません。学校 池上 NGOの自然保護は学ムに縛られており、なかなか臨 のお世話になっています。ごとの指導計画などカリキュラ ので、教育系のコンサルタント

名の担当者がいます。 では五年前に発足し、

九九〇年に設立され、

ラムサ

ており、社会貢献活動でもチー

の受け入れ態勢が不

十分とい

う 校との連携もあり

うことをしてほし

機会をあまり持てま

ってきた知恵や工

池上 NGOは企業にどうの育成にも役立っています

荒木

教育現場で

セージをいただきた

戻さなければと

しい職業観」を学校教育に取り

-増大の状況に

対して「望ま

ありました。その方策の一

する部署です。この部署は日本ける社会貢献活動を企画・運営ビス・グループ」は、弊社にお

荒木を

教育現場は年間指導計で伺いたい。

で新れ

しく開く時にはどこにアプ

ればよい

かわからない

的にはバランスのとれたリチームワークが促進され、

した社会貢献活動を通じ社内

の長

画やそれをさらに細分化した週

その方策の一つこいう問題意識が

動は従来、部署ごとで課題積水化学工業のCSR活

傾水化学グループ中期また○六年度スター

ープ中期経営-度スタートの

に、一人ひとりがどのようが意識を向上させるとと

人ひとりがどのよう

伊豆 詰次 氏積水化学工業専務取締役

をベースとし、環竟・土台と対話」の三つの"誠実さ』

ハ す。そのためこま、 *^*** 献が大切であると考えま ラスして様々な形の社会貢 ことはもちろん、それにプ

今、求められる企業の社会貢献

ために仕事をするべ トン・フリードマン

衰退しました。今の社会貢献やましたが、バブル崩壊とともに

った米経済学者ミル

ソフィー、メセナが話題になり 池上 一九八○年代にフィロ

先日亡くな

っていますが。 は邪道であるとも言

るのではない

かと心配するの

で え

桶谷

社会貢献活

として始まったようですが、今 桶谷 昔はお金の使途の対象

桶谷

社員教育や環

きで、

社会的な貢献

CSRも景気が悪くなれば消

環境・社会

マネジメント」、「情報開示

報告書などを通じて社内外

に発信して

います。

構成する従業員一人ひとり

解決に取り組んできま

ビジョ 積水化学グ

ンでは、成長と高収

な社会貢献ができる

○水化学グループ全体にそれを二○○五年度か

と社会貢献を同時に実現さ益化に加え、CSRの実践

剣に考えて、

熱心に行われたパネルディスカッシ

ともに、企業のイメ 境教育の場になると

確かに企業主体では収益に影響は社会貢献活動が出発点です。

か、荒木さんからお願いします。

立命館小学校は京都市

てどのように考えて

ように考えている
9企業の社会貢献に

平 尾

「チャリタブル・サー

企業の社会貢献

会が何を企業に要請しているかなどを話し合っ 新聞フォーラム2006」(協賛・積水化学工業)を開いた。企業が社会貢献に取り組む意義、また社

カッションパネルディス

今

求

められる企業の社会貢献」

はストップします。学校側にもく、教員の異動に伴いその事業は教員個人に頼るところが大き

然保護活動を通じて社員の意識差をなくすために社会貢献、自

に努めています

社会貢献を受け

入れる組織づれ

理能力向上を期待してき込んだプロジェクト

↑でその管

います

九八七年、二十一世紀に向

がボランティアで参加す。私たちは場所の提

が かし、企業の提供と教員

回無料の公開講座を開いていま京都市内外の子供を対象に月一

「梅下村塾」と命名していただ陰の松下村塾たれ」といわれ、

の今井敬氏に、

「平成の吉田松

現地の要人と意見交換するない、海外にも積極的に出向いて

す

活動内容は広範かつ多岐に

氏

交換、また禅や茶の作法を習っ含めた有識者たちの講話や意見っています。

また個人として、新たな社会があるとともに、企業人として、

新たな社会貢

これらの活動は研修の一部で

も力を入れています。とで、広く世間に訴える活動に

言したり本を出版したりするこ

を直接、

政治家の方々に政策提

も力を入れて

献のモデルではないかと思いま

きました。

これまで十

九期にわたり卒業

わたり

学校側にも

重要だ。日本経済新聞社は昨年末、東京で「今、求められる企業の社会貢献」をテーマに、

た、企業の持続的成長にはすべてのステークホルダー

企業経営や企業価値向上のためには、

C S R

(企業の社会的責任)

(利害関係者)との良好なコミュニケーションも

「日経産業

経営です

ですが、エコロジーとエコ弊社の経営の基軸は環境

現場から見て

立命館小学校の見ていかがで

校は複数企

ーラム 21・

梅下村塾塾長

あります。その意識の温度ーの両立は難しく思われる

げると、

-からパソコンの寄贈をけると、コンピューター素と連携しています。一

・メーカ 例を挙

を受け、

業と連携して

荒 木

が不可欠な時代になっている。

短期的にリ

れませ

あると思

池上 企業の取り织す個々の意志で取り织

組みを学校

企業と社会貢献活動の新し

い関係

立命館小学校教頭

荒木 貴之氏 中村 玲子氏

ラムサールセンター事務局長 ゴールドマン・サックス証券 チャリタブル・サービス・グループ

積水化学工業CSR部 省氏 環境経営グループ長

〈コーディネーター〉 彰氏 ジャーナリスト

パネリスト

平尾 佳淑氏

応援してくれています。 ップやセミナ の開催などを

> が社会貢献するケーの支援と、一人ひと 自然保護に努めています。従業ので、私たちもかなり以前から どで交流の場を設けて との関係をどのようにつくって 供を対象に「積水化学自然塾」な 員の社会貢献は次世代を担う子 で環境に負荷をかける面もある [|] 池上 荒木さん、 カーはエネルギー あるいは学校と会社 9るケースがありま一人ひとりの従業員 学校として います。 とその学校では再び開けないケーゼ でしたが、その先生が転勤する こていますが、特定の先生は熱心 桶谷 家づくり教室を開催とを行った経験がありますか。 動で学校、 大事な点は双方にメリットがありが急務だと思います。ただ、 るかどうかです。 池 上 ▼教育機関との連携

桶谷さんは社会貢献活

5 の利益向上につながると考えま1 ニティーの健全な発展は、企業いています。我々は地域コミュ

池 上

社会貢献で大事な検証

どのように

検証

「フォーラム21」 成が急務であるとの思いから けての官界・経済界の指導者育

とらわれず自ら変革する集団にトワークが築かれ、固定観念に

を継続しています。

「このままでは日本の将来は

知恵、

体力、

失敗や

み、 気力、

・った色々

会のもとに卒業後も活発な活動

いう思いでしたためたもので

人に及ぶ強力なヒューマンネッ

動中の二十期を含め総勢約六百生(OB)を輩出し、現在、活

ロ 会、ナレッジ委員会、広報委員 の となり幹事会、企画実践委員 ま 一方、卒業生は〇B会の所属 喜

貝 のではなく、真実の汗を流そう貝 ました。楽をして金をもうける偶 毫(きごう)して全塾生に贈り

八十歳の時に「流汗悟道」

現在、私は八十二歳です

そして社会貢献を行う企業

桶 谷

はどのように行って

ます

を設立しました。

「汗」流し世界に誇る「日本の未来」を

ーラム 21

これからの日本

バランス感

成長しています。

教育機関との連携な

○ 月までの間に百六十三のボラン ています。○六年は四月から七 で働くことを社員は誇りに感じ

会に報告し

N G O

に基づき行動する人間が必要とに基づき行動する人間が必要とに把握するとともに、国際的視に把握するとともに、国際的視点に把握するとともに、国際的視点を持って社会の将来像を的確

の全体会議のほか、四つの分科は、一マのもと、活動を一年かけては、一マのもと、活動を一年かけては、

行 に通じているのではないでしょ に料 未来をつくる」という社会貢献 らて すが、メンバーの活動は単なる まて 取り組んだ「フォーラム21」で でない」という危機意識をもとに せない」という危機意識をもとに せ

* うのではなく、今こそ国ン 我々は国から何かを-

も生まれます

で人間は幸せを感じ、

感謝、

愛

す。そして「足るを知る」こと

そ最高の幸せ な汗を出すことこ

に何ができるか、を考えて行動うのではなく、今こそ国や社会

営者の方々に世話人をお願いし考え、日本を代表する企業の経

により議論を重ねます

うか

毎年、

世界的・国家的な視野

エ わゆるヨゞハ・ 時講師として学校の教壇に立つ は時講師として学校の教壇に立つ は

ちに直接、世の中を語る活動でわゆる日本の将来を担う子供た

会に分か

れ、週一回以上の会合

するかを決めて、そ

告します。検証について長します。検証について長会があり、どこに寄付員会があり、どこに寄付

ティア活動を実施し、





































の方を招いた活動報

一年間かけて切磋琢磨(せっさ・約三十人の精鋭メンバーが、て、毎年、異業種の約三十組織

の保障政策や、地方行政と公務員 な クラス クラック (保障政策や、地方行政と公務員 な 例えば十九期は「日本の大転 日本の大転 日本の大下ーマを選定します。 は

「汗をかく」を指導理念とし

揮

平尾氏

の場です。

り組みまり

百冊を超える読書、合宿での

マについてまとめたレ

ポー

ではありませ

か。

皆さんも、

二つ目としては統一テ

存です

改革から日本を変えるなどに取

九九年には当時の経団連会長

たくま)する自己研鑚(さん)

り

荒木氏

動については、 は報告書を提出して ともあります。 に寄付対象活動を見学 終了後に意見・感想、 き点をフィ 池上 あり方を考えてい システムになって かを確認します。 また寄付先の非営利団体に 最後に企業の 寄付金に関 しては、 ティア活 方々にメ 社会貢献 改善す れたかど た、実際

中村氏

科教育を担当、フリーターやニは東京都教育庁で人権教育や理

私は○五年度に立命館に来る前

して教育に取り組んでい

企業に

求め

ています。

「本物に学ぶ」

をコ

教員頼

様々な企業と連携

―三年生三百六十七人が通っ

皆さんの働いている姿を子供た 大を伝える 次世代を ん。ぜひ 人間が

約もあります。個人、や先生が多数いますが ける予定です。参加 ただきたいと思いま ムサー 中村 子供たちをつなげ! 子村 ラムサール! -ル」活動をな なげる「子ども-ル条約登録地 金銭の制 たい子供と三年続 関係性づくりに不以降、日本社会は人との交流や ってきました。特に一九八○年かわりを大切にするゆとりを失 るあまり、

く面白くないと思われる動、ボランティアといる にすることができます 平尾 地道な活動の アイデア次第で楽 · を 募 社会貢献活 企業を問 がちです 積み重ね ています る社員 互関連性を認める社会を創(つ へ様性やひと・もの・こととの相 とうに考え対処していくのか。多 がいで来ています。では、どのよ せいで来ています。では、どのよ せ 自己否定の傾向に な人が増え、 自己肯定観を見いだせな

会貢献活動は社員 品格であ 長は と話し

意識は変わります。社会でボランティアに対する 平尾

学校・教室を超えて地域でリア問われています。環境教育では 意)」を重視しています。 日本でンス・オブ・プレイス (場所の 環境教育において欧州は「セ 会で「総合的な学習の時間」が「環境教育推進法として制定され 力です 会の座長として「これからの環半、私は中央環境審議会小委員 につけたい能力が問題解決型能創設され、「総合学習の時間」 め、その枠組みは二〇〇三年に 境教育・環境学習」をとりまと

預金型から探求・創出・表現その教育観は知識伝達・注入

私たちは効率性を重視 他者や自然とのか で、 入っています。「遊ぶ」ことは ス との出会いが望まれます。例え、 との出会いが望まれます。例え、 との出会いが望まれます。例え、 「まねぶ」 で「学び」に発展し

Ł ていきます。 」、一九五○年代から七○年代日本の環境教育を振り返る 環境教育のねらいは「関心」

続可能な発展 ^ 環境知性を

持

電話して記述で表でした。 は、一番に重義と目をあせているに など、方様にはどういう社 進める必要があります。 とを考える能力や態度、すなわ は、製造プロセスの負荷低減を など ち環境知性を身につけることが 含めた環境配慮型製品を供給 など ち環境知性を身につけることが 含めた環境配慮型製品を供給 など ち環境知性を身につけることが 含めた環境配慮型製品を供給 です。何のために学び、 た学びで共に創る社会づくりを の数 「参加」です。何のために学び、 た学びで共に創る社会づくりを の数 「参加」です。何のために学び、 た学びで共に創る社会づくりを の数 「参加」です。何のために学び、 た学びで共に創る社会づくりを の数 「参加」です。何のために学び、 た学びで共に創る社会づくりを の表 し、みんながウィンウィン(と でするかです。そのために でするかです。そのために でするかです。そのために がある必要があります。 歴史的な視点が重要です。

告

来の子や孫のためにも日本を良格下村塾約六百人のメンバーは、この精神のもとに連帯、将することが求められています。 敬される国にするべく頑張る所くし、アジアに、また世界に尊 の相互関連の中で持続可能な発る際、経済、社会、自然、文化 一緒に汗を流そう

基

環境教育が育む社会

紀美子氏

東京学芸大学教授

ように本やインター で ていくことをねらっています。 地域や環境問題の代替策を考え ご生も子どももともに学び合い、 に 型への転換です。環境教育は先 〇六年閣議決定された「第三

が で枠組みが策定されています。 ば み」「循環」の四つのキーワード で 当生」「参加」「国際的な取り組 心で質の高い国づくりを目標に次環境基本計画」では安全・安 教育、食糧も含まれています。 発展の教育には人権教育、平和組 られています。特に持続可能なに や行動のパラダイム転換が求めに 関解決、多様性といった考え方 一るプロセス、批判的な思考と問性、価値観、ビジョンを共有すが始まりました。学際性や総合 あります。展に向けて教育を考える必要が 能な開発のための教育 ○五年、日本の提案で「持続可

育・環境学習が入っています。域づくりの推進」として環境教 つに「環境保全の人づくり、地そして環境政策の重点分野の一 多様な主体やセクター は企業、 役割を誰が担うかです。それに ぐ (チェンジエージェント) 行政、国、市民による 連携と協働が必要 -を「つな

最後に問われていることは、

ロセススキルを育成し、そうしと参画の中からプ

夕 科に入りました。九○年代後は 指導要領に「環境」が多くの教は 初頭は公害問題、八八年に学習

本では自然の生態系を考え み出さなければなら 確立するかです。 一緒に連携し相乗効果を いればなり

日本経済新聞社広告局〈企画・制作〉

この特集は日経アドネットからもご覧になれます。 http://www.nikkei.co.jp/adnet

協賛:積水化学工業株式会社 www. seki sui. co. jp